

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 22-001

PDCA	事務事業名	社会体育振興事業	部課等名	健康子ども部スポーツ課 振興担当	担当	稲葉	
					内線等	421	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 4. 生涯スポーツ・レクリエーション					
		単位施策： (1) 生涯スポーツの実現					
	根拠法令等	スポーツ基本法					
	対象・目的	スポーツの教室や大会などを開催するほか、半田市スポーツ協会への活動支援、スポーツ推進委員会を中心としたニュースポーツ普及活動や地域のスポーツ振興などにより、第3次半田市スポーツ推進計画の目標値とする成人市民のスポーツ実施率65%達成を目指す					
	目的を達成するための手段・活動内容	・半田市スポーツ大会（半田祭）、半田市民スポーツ大会の開催 ・はんだシティマラソンの開催 ・各種スポーツ教室、大会の開催 ・半田市スポーツ協会への助成 ・半田市スポーツ推進委員の活動（ニュースポーツの普及等）					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①各種教室・ニュースポーツ普及事業等参加者		738	696	157	人
		②半田市スポーツ大会・半田市民スポーツ大会参加者		16,981	16,393	3,628	人
		③はんだシティマラソン大会参加者		3,198	3,235	-	人
		④「はんだスポーツの日」イベント参加者		650	770	-	人
		⑤親子のスポーツ教室等、研修会参加者		6,142	5,062	3,670	人
		事業費		20,188	19,738	5,735	千円
		人件費		19,264	10,220	9,720	千円
		総事業費		39,452	29,958	15,455	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①社会体育振興事業に係る市民1人あたりの経費		329	250	130	円/人	
	成果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①スポーツ実施率（3年毎） ※週1回以上スポーツをする人の割合	実績値	47.4	47.4	43.3	%
			目標値	65.0	65.0	65.0	
②各種教室・大会等参加者数		実績値	27,709	26,156	7,455	人	
		目標値	33,200	33,200	30,000		
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性		有効性		効率性
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	D					
		新型コロナウイルス感染症の影響を受け、スポーツ大会・教室の開催が限定的となり、スポーツに触れる機会やスポーツをする場を創出することに制限があった。 そういった状況下ではあったものの、感染症拡大防止に最大限配慮しながら、半田市スポーツ協会をはじめとする各団体の協力のもと一部ではあるが、イベントや教室等を開催することができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
今後はwithコロナ・afterコロナの時勢を見据え、従来の方法にとらわれることなく、新しい生活様式等に沿った形でのスポーツイベント等の開催方式を柔軟に検討していく必要がある。 また、半田市で開催される東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーイベントを機に、スポーツを身近なものとして認識してもらうことや、生涯スポーツ社会の実現に向けた第3次半田市スポーツ推進計画（令和3年度～令和12年度）に則り、障がい者スポーツの推進等の各種計画を遂行し、スポーツ実施率の向上を目指す。							
令和3年度の目標		成果指標		目標値		単位	
		①スポーツ実施率（3年毎）※週1回以上スポーツをする人の割合		65.0		%	
		②各種教室・大会等参加者数		20,000		人	